

# 「安全管理上の引き継ぎ事項」

## ダイジェスト版

野外教育活動 修学旅行	No.	事前に確認すべき点
野外教育活動 編	Check①	やけど予防のための事前指導・現地指導は計画されていますか？
野外教育活動 修学旅行 共通編	Check②	気象情報を「だれが」「いつ」「どんな方法で」確認をするか記載してありますか？
	Check③	アレルギー（食物、植物、動物、ほこりなど）のある児童生徒の把握はできていますか？
	Check④	熱中症・危険生物への対策は考えてありますか？
	Check⑤	からだの面で特別に配慮が必要な児童生徒について、活動中の対応を保護者と打ち合わせができていますか？
	Check⑥	現地で病院にかかることになったことを想定して、事前に確認することはできていますか？
	Check⑦	班行動など、児童生徒のみの活動について、緊急時の対応を想定していますか？
	Check⑧	観光バスを利用するにあたり、想定される事態を考慮した計画が立てられていますか？
修学旅行 編	Check⑨	鉄道を利用する際の安全対策は万全ですか？
	Check⑩	買い物時のトラブル予防はできていますか？ 小学校…交通安全・無駄遣い 中学校…押し売り



## 野外教育活動・自然体験学習 編

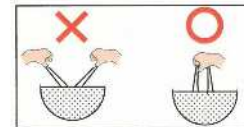
### Check ①



### やけど予防のための事前指導・現地指導は計画されていますか？

#### □ 飯ごう炊さんの指導

- 綿100%の長袖長ズボンを着用し、髪の毛の長い子は束ねる。
- かまど付近での作業中は、雨天時の雨具としてカッパは使用しない。
- 軍手は綿100%のものを2枚重ねて使う。(飯ごうをつるす鉄の棒は、軍手を2枚重ねしても熱いので、教員が皮手袋で下ろすようにする)
- 濡れた軍手は、熱が伝わりやすくなるので使わない。
- なべは2つの取っ手を合わせて片手で持つ。



《水を入れて実演すると分かりやすい!》

#### □ ファイヤートーチの指導

- 綿100%の長袖長ズボンを着用し、バンダナなどで髪の毛を守る。
- 異常や危険を感じたときは、トーチから手を放す。
- 万が一、火が衣服に燃え移ってしまったら、走らずに転がる。

#### □ ファイヤートーチの留意点

- 火をつけてからは、トーチを下へ向けると炎が手元に昇ってくるので、トーチは絶対に下へ向けない。
- 火をつける雑巾は、綿100%のものを使い、灯油が垂れないようにしっかりと絞る。
- 雑巾を大きくしすぎると、炎が大きくなりすぎるので注意する。
- 針金のゆるみがないか、本番前に必ずチェックする。
- 事前の予行練習は、火をつけて本番と同じ状況で行う。
- 風が強く危険が予想されるときは、サイリウムライトで行うなど、変更できるように事前に準備しておく。



## 野外教育活動・自然体験学習／修学旅行 共通編

check ②



気象情報を「だれが」「いつ」「どんな方法で」確認をするか記載してありますか？

活動の中止または、順延決定の連絡系統

- ・学年職員（学校待機職員） ➡ 施設長 [見解] ➡ 校長 [最終判断]

気象情報の確認をする時間と方法

- ・活動の約30分前を目安に判断する。
- ・海や山では刻一刻と気象条件が変動するため、臨機応変に対応できるよう、ゆとりのある計画を立て、活動中も気象情報の把握に努める。
- ・気象情報の観測点が離れている場合もあるので、現地スタッフと十分協議する。

キャンセル料の発生についての旅行業者との確認

- ・台風等で延期になる場合、何日前から、何にキャンセル料が発生するのか確認しておく。
- ・旅行業者により、キャンセル料が発生する日が異なる場合がある。

◆気象庁ホームページ 「<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>」

→この中から、以下のページが役立ちます。

「雨雲の動き」

<http://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>



「キキクル（危険度分布：土砂・浸水・洪水）」

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk>

## 野外教育活動・自然体験学習／修学旅行 共通編

Check ③



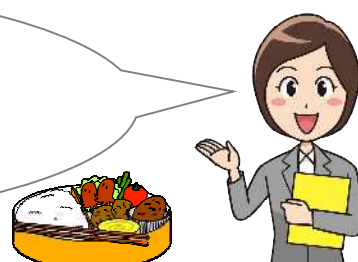
### アレルギー（食物、植物、動物、ほこりなど）のある児童生徒の把握はできていますか？

#### □ 保護者への説明

- ・説明会の中で、アレルギーのある児童生徒について、旅行取扱い業者、旅館などと、どのように対応するのかを説明する。
- ・事前の健康調査で、アレルギーのある児童生徒の把握をする。

食事メニューがわかっているときには成分表・写真などを提示するとよいと思います。

保護者へアンケートをとったり、対応を要する児童生徒の保護者と個別面談をしたりすることも大切です。



#### □ アレルギーのある児童生徒への対応

- ・宿泊先や弁当を注文する業者など、食事の提供先と直接打ち合わせをする。
- ・実施計画細案に、いつ、誰（職員）が、どのように対応するかを明記する。
- ・アレルギーが発症したとき、病院への搬送、保護者への連絡などの方法を確認しておく。

児童生徒へもアレルギーが出たときの症状などを知らせ、どのように対応するのかを確認しておくとうよいと思います。



#### □ 食物アレルギーのある児童生徒への対応

- ・打ち合わせ通りの対応食が用意されているか、必ず職員が確認をする。
- ・対応食を希望する児童生徒が食事をとるとき、複数の目で確認をする。
- ・弁当やおかしの交換禁止、みやげ物店の試食禁止など、児童生徒にルールを守るよう徹底する。
- ・エピペンを所持している児童生徒の行程を確認する。  
(誰が、いつ、どこに所持しているのか、行程表に明記する。)

#### □ その他のアレルギーのある児童生徒への対応

- ・部屋、寝具など事前に確認、点検をする。



## 野外教育活動・自然体験学習／修学旅行 共通編

### Check ④



### 熱中症・危険生物への対策は考えてありますか？

#### □ 熱中症への計画的な対策

- 健康観察やお茶の補充をいつするのか、行程表に明記する。
- 水分補給はこまめに行うよう、引率教員全員で共通理解を図る。
- 修学旅行では、お茶がなくなってしまったときは、買えばよいことまで指導しておく。

#### □ 天候に合わせた対応

- 熱中症指標計（WBGT）を持参するなどして当日の状況をつかみ、それに合わせて柔軟に対応できるようにしておく。（砂浜の活動を体育館での活動に切り替える、お茶の補充回数を増やすなど、あらかじめ考えておく。）

#### □ 熱中症対策グッズの準備

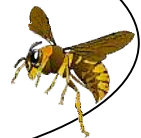
- 体育館での活動時のための扇風機を準備する。
- 経口補水液、スポーツドリンク、塩飴、タオル(水で濡らす)、保冷剤など状況に応じて、対応できるように準備しておく。



#### □ 危険生物等への対応

- 事前下見や現地スタッフの話から、情報を得ておく。
- むやみに触らない。刺されたりかまれたりしたときは、自分で処置せずすぐに申し出るよう指導しておく。
- アナフィラキシーショックへの備えとして、ハチ刺されの経験がないか事前調査をしておく。

ハチ、マムシ、ムカデ、  
マダニ、ヒアリ、毛虫など



## 野外教育活動・自然体験学習／修学旅行 共通編

### Check ⑤



からだの面で特別に配慮が必要な児童生徒について、活動中の対応を保護者と打ち合わせができていますか？

#### □ 配慮する内容（個々の疾病）の確認

- ・気をつけるべき症状、症状が出た場合の対応について把握し、引率者で情報を共有しておく。
- ・計画している活動に基づき、活動制限の必要性について確認しておく。
- ・服用中の薬はあるか確認し、ある場合は服用のタイミング（いつ、何を、どれだけ服用するのか、本人にいつ声かけをするかなど）を把握しておく。



症状が出現したときには、時間とその症状がどれだけ続いていたか記録に残しましょう。

保護者と打ち合わせた内容は、本人とも確認しておきましょう。



#### □ 連絡先の確認

- ・緊急時にどの連絡先に連絡すればよいか、時間帯に合わせて確実に連絡できる電話番号を確認しておく。

#### 【例】

- ① 昼間（7時～17時まで）は、父親の職場▲▲-▲▲▲▲に連絡する。
- ② それ以外の時間帯は、母の携帯090-▲▲▲▲-▲▲▲▲に連絡する。



#### □ 重たい症状や発作が出たときの対応

- ・救急車を要請する判断の基準となる症状を、保護者に確認しておく。
- ・保護者の引き取りはどのような手段で行うのか把握しておく。



保護者と関係職員（管理職、学年主任、担任、養護教諭など当日行く職員）で事前に打ち合わせをし、共通理解を図っておきましょう。



## 野外教育活動・自然体験学習／修学旅行 共通編

### Check ⑥



現地で病院にかかることになったことを想定して、事前に確認することはできていますか？

#### □ 健康保険への加入の確認

入っていない児童生徒がいる場合

- ・現地でけがや病気をしたときの対応について、保護者及び関係職員（校長、学年主任、担任、養護教諭など当日引率する職員）と打ち合わせをする。



#### □ けが人や病人の対応

- ・旅行業者や宿泊施設から、活動当日に受診可能な最寄りの病院を確認しておく。
- ・児童生徒の動向表に沿って、受診可能な病院を事前に確認しておく。



#### ○ 日本スポーツ振興センター申請の準備をして出かけると便利！

申請用紙、返信用の封筒、84円切手（返信用封筒に添付）

#### ○ 一般の旅行傷害保険に加入する場合、補償内容を確認しておきましょう！

緊急時の教職員や家族の派遣費用、自然災害時の補償など

## 野外教育活動・自然体験学習／修学旅行 共通編

Check ⑦



班行動など、児童生徒のみの活動について、緊急時の対応を想定していますか？

### 野外教育活動・自然体験学習 編

□ オリエンテーリング・ウォークラリー中にはぐれた場合の指導例

(例) 到着予定時刻から15分程度経っても次のチェックポイントが見つからない場合は、来た道に戻る。(決してそのまま歩き続けないこと)



全ルート上で本部と携帯電話の電波が届くか、また電波が届かないところはどこか事前に確認をしておきましょう。

### 修学旅行 編

□ 集団とはぐれた場合の指導例

(例) 公衆電話か、近くのお店などで電話を借りて本部の先生に電話をして指示を受ける。



□ 電車の乗り降りではぐれた場合の指導例

(例) 乗り遅れた人は、次に来る電車に乗って次の目的地の駅で合流する。他の班員は次の目的地の駅で待つ。



班別分散学習では、生徒にGPS機能付きの携帯電話を持たせることで、行動を把握することができて、生徒管理にはとても有効です。



## 野外教育活動・自然体験学習／修学旅行 共通編

Check ⑧



観光バスを利用するにあたり、想定される事態を考慮した計画が立てられていますか？

### □ バス内での安全

- ・貸し切りバス乗車時は、一般道路や高速道路の区別なく必ずシートベルトを着用するように指導する。

### □ 駐車場やサービスエリアでの乗降・移動時の安全

- ・バスの乗降における危険箇所について、あらかじめ旅行会社と事前に打ち合わせをして対応策を考える。  
(例) 教員・添乗員が交通指導・誘導する場所  
(例) サービスエリアでは、できるだけトイレの近くに駐車
- ・到着時、先に教員が降りてバス周辺の安全確認をする。



### □ 乗り物酔いやトイレ対策

- ・事前調査で乗り物酔いを起こす児童を把握するだけでなく、乗車 30 分前には酔い止め薬などを飲むよう、確実に担任や養護教諭が声かけをする。
- ・乗り物酔いをしやすい子やトイレが近い子のことを考慮して、こまめに休憩をとるよう計画する。

### □ ゆとりある計画

- ・バス移動は渋滞等による移動時間の変更が十分考えられるため、いくつかの案を事前に考えて柔軟に対応できるようにする。



## 修学旅行編

check 9



### 鉄道を利用する際の安全対策は万全ですか？

#### □ 駅集合・解散時の安全

- 他の学校と重ならないように、あらかじめ添乗員や駅職員と連絡を取り合ったうえで集合場所を決める。
- 解散は確実に保護者に引き渡しできるように計画段階で駅のどこに、どの教員がいるかを伝えたり、誰が駅に来るかを把握し連絡先を聞いたりする。

他の利用客のことも考えて、エスカレーターではなく階段で移動するよう、お願いします。



#### □ 移動時の安全

- 長い列で移動する際は、列が途切れて人波にのまれても迷わないように、教員の配置を考える。
- 大きな荷物が人にあたったりふらついたりしないように、できるだけお腹の前で抱えて移動する。



#### □ ホームでの安全

- 安全かつ他の利用者の妨げとならないようにホームでの待機の仕方や乗り降りの仕方を事前にしっかり指導する。
- 落ち着いて人員確認ができるように、時間的にゆとりのある計画を立てる。

#### □ 車内での安全

- 車内で必要以上移動しないよう、あらかじめ乗車前にトイレを済ませるようにする。
- 突然電車が止まるなど、あらゆる事態を想定して緊急時の対応をあらかじめ指導しておく。



## 修学旅行編

check 10



買い物時のトラブル予防はできていますか？

小学校…交通安全・無駄遣い 中学校…押し売り

### <<小学校>>

#### □ 交通安全・無駄遣い

- 交通事故やまいごなど、安全に配慮した職員配置をする。
- 道路を横断するとき、車両に気をつけるよう指導（事前・当日）する。
- 言葉巧みに無理やり買わされることのないよう、注意喚起をする。



（例）奈良三条通り

- ◆ 交通量（自転車・自動車）が多いので、道路横断は引率者のいるところで行う。

（例）みやげ物店が多く並んでいるような通り

- ◆ みやげ物店の中には、児童生徒に物を買うように強く勧めてくるところもあるので、できれば下見のときに様子をうかがっておく。

清水坂の売店の食堂で昼食をとる場合には、その売店をみやげ物店として使わせていただくと、安全に買い物ができ、指導面でも安心です。



### <<中学校>>

#### □ 押し売り

- 下見や地域の情報などから、「危なそうな場所（店）」を避けて計画させる。
- 押し売りされそうになったとき、具体的にどのように行動するのかを事前に指導しておく。

（例）「単独行動はしない」「その場（店）から離れる」「きっぱり断る」など

押し売り以外にも、ちかん、たかりなどの危険についても事前に指導しましょう。

もしもの時のために、防犯ブザーや学校で借りた携帯電話を使用させることも、生徒の安全につながります。

